

2022年度 日本工学院専門学校											
C G映像科											
デジタル演習 3											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	亀井 恒之			実務 経験	有	職種	映像制作				
担当教員紹介											
映像クリエイターとして制作現場で多くの作品の撮影・合成・編集を担当。合成のみの指導ではない制作フローを指導。											
授業概要											
撮影を通して、カメラの仕組み、レンズ、構図、照明について理解する。グループで企画・撮影して、編集する。											
到達目標											
1. 撮影までのワークフロー（企画・構成・撮影スケジュール） 2. 撮影技術を理解する（カメラ、レンズ、照明） 3. 作品のプレゼンを行い、発表力をつける											
授業方法											
多様な価値を持つ人でグループを組み、それぞれの長所を活かしながら課題を進めていく。 実践をしながら、撮影技術を学んでいく。											
成績評価方法											
試験・課題 60% 課題内容により評価 成果発表 20% 授業内に行われる発表により評価 平常点 20% 積極的な授業参加と授業態度により評価											
履修上の注意											
授業で使用する素材すべては権利を有するものであり、二次利用・配布・公開は例外なく一切認められない。 理由のない遅刻・欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 危険な機材や高額のカメラ等の取扱いに注意する。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	カメラの使い方・レンズについて理解する										
第2回	グループに分かれ、人物紹介映像の企画・構成を立てる										
第3回	人物紹介映像のインタビュー撮影を行う										
第4回	人物紹介映像のインタビュー撮影・インサート撮影を行う										
第5回	人物紹介映像の編集を行う										

2022年度 日本工学院専門学校	
CG映像科	
デジタル演習 3	
第6回	人物紹介映像の編集を行う
第7回	プレゼンテーション発表を行う
第8回	ドラマの台本をベースに、会話劇のカット割りをプランする
第9回	撮影の準備、ロケ場所を選定する
第10回	会話劇を撮影する①
第11回	会話劇を撮影する②
第12回	会話劇を編集する①（カット編集）
第13回	会話劇を編集する②（カラー編集・音編集）
第14回	プレゼンテーション発表を行う
第15回	プレゼンテーション発表を行う